

単元名 音のスケッチ(1)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 様々な声の出し方やつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けたりすることができる。
- (2) 声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関りについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりすることができる。
- (3) さまざまな声の出し方を試し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070107_001

【教材名】いろいろな声で表げんして遊ぼう

(P. 26～P. 27)

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 いろいろな声や音を組み合わせ、音楽の仕組みを生かした「ヤッホー」の音楽をつくる。</p> <p>★いろいろな声で表げんして遊ぼう</p> <p>○いろいろな声の「ヤッホー」を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 26の「ヤッホー」を参考に、いろいろな声で表現する。 いろいろな「ヤッホー」を使って、まねっこをしたりよびかけっこしたりして遊ぶ。 各自がつくった「ヤッホー」を使って、グループで表現する。 <p>○音楽の仕組みを生かして、まとまりを意識した音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに仕組みをどのように組み合わせるか、何度も試しながら考える。 <p>○つくった音楽を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのようなイメージで「ヤッホー」を表現したか、声に出して確かめながら教科書に記録させる。 いろいろな声で「ヤッホー」を言うときは、児童の発想を大切に。まずは、例を参考にペアまたはグループで一つずつ試してみてもよい。 例にある仕組み（よびかけっこ、まねっこ、リレー、重ねる）を教師と児童で実際にやってみたり、代表児童による模範演奏を示したりする。 なぜそのように表現したか、音色、強弱、言葉の抑揚などを価値付けし、児童が表現することを楽しめるようにする。 <p>【共通事項】音色 強弱 呼びかけとこたえ</p> <p>【評】様々な声の出し方を試す活動を通して「主体的に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】様々な声の出し方やつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせながら声を出す活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・仕組みに関しては、これまでの学習で触れているものもあるが、一つずつ丁寧に確認する</p> <p>【評】声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、音楽をつくる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・拍の流れにのって表現できるように、教師が打楽器で拍を打ったり、自分たちで手拍子をさせたりするとよい。</p> <p>【評】設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】